



料金後納

ゆうメール

世田谷パブリックシアター SETAGAYA PUBLIC THEATRE

# 学芸プログラム 通信 No.13 2022年7~8月号

今年の夏は例年のない暑さで、皆さん、健康面の維持が大変だったのではないのでしょうか？ 加えて、この暑さの中の新型コロナの蔓延は、私たちの活動に大きな支障をきたしました。しかし、今劇場がやるべきことは、この事態を受け入れながらも最善の注意を図りながら、粛々と前に進むことだと思っています。私たちが対面で行うことは、決して、腰を引いてはできないことですし、しっかり向き合って真摯に対処していくことだと思っています。

さて、この夏季に世田谷パブリックシアターは、大変充実した夏を迎えたと思っています。

学芸事業に目を向けますと、今年から開始した「夏の劇場・りんかん学校」ではたくさんの児童が参加してくれて、劇場でものを作ることの喜びや苦勞を共にすることができました。子どもたちが、劇場空間の中でフィクションを作ることの喜びを少しでも感じてくれればと願っておりましたが、今回はそのとっかかりになったのではないかと考えています。それにしても驚いたのは、子どもたちが持つエネルギーの大きさです。エネルギーの塊と言って良いほどに、動き回り、はしゃぎ回り、なんでもすぐに吸収する力は、もはや私のコントロールの領域を超えるほどのものでした。おもしろく手強い子どもたち。この子たちに未来を託すことに大きな期待を覚えました。

そして、この夏休みの同時期に開催された「せたがやこどもプロジェクト2022」《ワークショップ編》にも、予想を超える参加の申し込みをいただき、改めて皆さんが人と出会って、創作することで得られる喜びを共にすることができました。この夏の経験が5年、10年後に、参加してくれた皆さんにとって、人とのコミュニケーションの大切さを実感してもらえんことを切に願っています。

また、同時にこの時期開催されたさまざまなレクチャーも、「劇場が発信できること」への可能性を示唆してくれま。行政が行える福祉と、劇場が近づくことができる福祉的な接点は全く異なるものだと思っています。その形態を探っていくことも劇場に課せられた大きな役割だと思っています。

8月の末からは、中学生演劇部の活動が始まりました。参加してくれる中学生の発想のなんて豊かなこと！改めて驚きを隠せません。生徒が描く劇世界は、時代と共に大きく変化し、それゆえに大きな可能性が広がってくると思います。人が人であることは、他者の存在を認めることだと思っています。少なくとも、この機能を果たせる限り、劇場は地域にとって大きな存在になりうはずで。

引き続き、世田谷パブリックシアターの活動に、注目していただければと思います。

2022年9月 世田谷パブリックシアター・芸術監督 白井晃

## 9月10月のピックアップニュース 8月31日時点 \*WS=ワークショップの時

|       |  |  |                     |
|-------|--|--|---------------------|
| 子ども   | 9月4日(日)~11月13日(日)  | 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部~区大会編~(全16回) *第1~2回は8月実施済 | 中学生のための区大会支援        |
| 区民参加  | 9月17日(土)   | 「デイ・イン・ザ・シアター」へんしん!? 顔ハメハメハート編                 | 劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS |
|       | 10月25日(火)  | 「デイ・イン・ザ・シアター」コトバで楽しむ編(仮)                      | 劇場で行う誰でも参加できる短時間のWS |
| 地域連携  | 9月1日(木)、8日(木)、15日(木)、18日(日)、25日(日)、10月1日(土)<br>【発表会】10月2日(日) | 世田谷パブリックシアター×玉川社会福祉協議会共催企画 大学生演劇ボランティア(全6回)    | 地域課題をテーマに創作演劇+発表    |
|       | 9月2日(金)~16日(金)   | かなりゴキゲンなWS巡回団@千歳小学校1年生(全10回)                   | 区内小中学校訪問WS:依頼毎      |
|       | 9月12日(月)~27日(火)  | かなりゴキゲンなWS巡回団@上北沢小学校4年生(全6回)                   | 区内小中学校訪問WS:依頼毎      |
|       | 9月15日(木)   | 下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」                    | 高齢者の居場所づくり          |
|       | 9月20日(火)~10月6日(木)  | かなりゴキゲンなWS巡回団@砧南小学校2年生(全10回)                   | 区内小中学校訪問WS:依頼毎      |
|       | 10月17日(月)~31日(月)   | かなりゴキゲンなWS巡回団@弦巻小学校2年生(全8回)                    | 区内小中学校訪問WS:依頼毎      |
| 専門家育成 | 9月9日(金)  | 演劇WSラボ【レクチャー】「障害と舞台芸術~制度と広がり」(全2回) *第1回目は8月実施済 | 演劇WS専門家育成           |
|       | 10月13日(木)、27日(木)   | 演劇WSラボ【レクチャー】「演劇WSと学校教育(仮)」(全2回)               | 演劇WS専門家育成           |



# 2022年7月～8月学芸事業一覽

子ども …… 子どものためのプログラム 区民参加 …… 世田谷区民、その他一般参加者のためのプログラム  
地域連携 …… 区内施設、NPO他と協力して実施するプログラム 専門養成 …… レクチャーや人材育成の取組

7月

- 1日(金) ● 演劇WSラボ【レクチャー】「まずは"その背景"を知ろう～障害とは？福祉とは？」1/2回目(対象：ゼミ生) 19:00～21:00 (講師：福田敏克氏、福祉新聞記者) 東京オリ・パラリンピックを契機に、障害のある人たちがアート活動に参加する機会が増え、活動支援の制度が整いつつある。今回、その背景を理解するために、障害のある人がどのような社会的文脈に位置付けられてきたか、また彼らを取り巻く福祉制度についてお話いただいた。
- 3日(日) ● 演劇WSラボ「感想クラブ」②
- 6日(水) ● かなりごきげんなWS巡回回@桜丘中学校2年生(進行役：すずきこーた)
- 7日(木)
- 8日(金)
- 11日(月) ● 演劇WSラボ「おやこフシギ発見クラブ」③
- 14日(木) ● 下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」14:00～16:00「写真日記編」(進行役：金川晋吾)
- 14日(木) ● かなりごきげんなWS巡回回@駒沢中学校2年生(進行役：すずきこーた)
- 15日(金) ● 演劇WSラボ【レクチャー】「まずは"その背景"を知ろう～障害とは？福祉とは？」2/2回目(対象：ゼミ生) 19:00～21:00
- 16日(土) ● 「デイ・イン・ザ・シアター」1日限りの「演劇&劇場」体験ワークショップ 10:30～12:30「身体にまつわるエトセトラ編～」(進行役：青山公美高) 15:00～17:00「身体にまつわるエトセトラ編～」(進行役：青山公美高)
- 16日(土) ● 夏休み大学生インターン(説明会) 18:30～21:00
- 17日(日) ● 演劇WSラボ「学校に行けない/行かない子ども達のための演劇WSクラブ」③
- 21日(木) ● 演劇WSラボ「コーディネーションマインド・スキルをシェアするクラブ」③
- 21日(木) ● 小学生のためのえんげきWS(低学年Aコース) 10:30～12:30「絵から演劇! いくつかの夏に何したい?」(進行役：とみやまあゆみ) 夏休み期間には、例年、小学生(低学年、中学年、高学年)、中学生、高校生に向けた3日間連続演劇WSを実施している。今年は、全コース進行役ごとに異なる14コースを設定し、定員を超える応募があった。
- 22日(金)
- 23日(土) ● 小学生のためのえんげきWS(中学年Fコース) 14:30～16:30「おばけになれちゃう夏休み」(進行役：田崎優)
- 24日(日) ● 小学生のためのえんげきWS(低学年Bコース) 10:30～12:30「解り道探検隊」(進行役：青山公美高)
- 25日(月)
- 26日(火) ● 小学生のためのえんげきWS(高学年)コース 14:30～16:30「無人島で挑戦! 旅のしおりから演劇」(進行役：大道朋奈)
- 26日(火) ● 夏の劇場・りんかん学校『流星スプーン』1/5回目 13:00～16:00 (上演台本・演出：白井晃 出演：中山祐一朗、高家望里)
- 26日(火) ● 世田谷区立中学校教育研究会 13:30～15:30(進行役：すずきこーた)
- 27日(水) ● 小学生のためのえんげきWS(低学年Cコース) 10:30～12:30「おっちょこちよいなおばけの夏やすみ」(進行役：有吉直人)
- 28日(木)
- 29日(金) ● 小学生のためのえんげきWS(中学年Gコース) 14:30～16:30「2022年宇宙の旅」(進行役：高水圭一)
- 28日(木) ● 夏の劇場・りんかん学校『流星スプーン』2/5回目 13:00～16:00
- 28日(木) ● 演劇WSラボ「おやこフシギ発見クラブ」④
- 29日(金) ● 演劇WSラボ【レクチャー】「障害」に出会う～幻聴妄想から「障害」を考える」1/2回目(対象：一般) 18:30～21:00(進行役：新澤克憲(就労継続支援B型作業所「ハーモニー」施設長) 黒瀬憲司(就労継続支援B型作業所「ハーモニー」スタッフ)) 「幻聴妄想から」は、福祉作業所「ハーモニー」(精神障害者の通所施設)の利用者たちが実際に経験した幻聴や妄想から作られている。今回は、利用者と一緒にそのかるたで遊び、「精神障害とは?」「障害、他者を理解するとは?」を共に考え、障害とアートが出会った先の可能性について、思考を巡らせた。
- 31日(日) ● 演劇WSラボ【定例会】13:00～16:00

障害福祉分野の最近の動向、事件、新しい政策などを中心に話を聞きました。普段聞き慣れない単語も多く出ましたが、障害のある人の取り巻く状況、環境を知ることの大切さを改めて感じさせられました。また、障害のある人たちにとって、表現をする場、アートと関わる場がどういった意義を持ちうるのかについて考える機会になりました。

「いつかの夏休みにしたいこと」をテーマに、一人ひとり絵を描いて、劇を作りました。自由に発想する子どもたちからは、現実には出来ないことや行けない場所もあげられます。「海で夏休みしたい」「終わらない夏休みが欲しい」「天の川を渡りたい」「劇を作りたい」…など、バラエティー豊かな夏休みのシーンが出来上がりました。



「おばけを食べたい」ということから、おばけが生まれる様子や「おばけ屋敷」「海の中でおにごっこ」「流しそうめん」「おばけの冒険」などの物語が生まれ、みなでのお化けの登場を踊りました。



ハーモニーの人たちと一緒に幻聴妄想から体験し、その後レクチャー参加者自身の経験をもとに新しい劇を作って共有しました。かるたで「遊ぶ」「作る」という体験そのものが、障害、他者を理解する、人と人との関係性を作るツールとなっていることを、身を持って体験することができました。



かるた紹介の様子。「でもね、精神科で信りの話をすると入院になるんですよ。」「幻聴妄想から」一例。

8月

- 1日(月) ● 夏の劇場・りんかん学校『流星スプーン』3/5回目 13:00～16:00
- 2日(火) ● 中学生のための演劇WS(Aコース) 14:30～17:30「歌のある劇もダンスのある劇もつくる」(進行役：大道朋奈)
- 3日(水)
- 4日(木) ● 小学生のためのえんげきWS(低学年Dコース) 10:30～12:30「おばけの大冒険」(進行役：すずきこーた)
- 3日(水) ● 夏の劇場・りんかん学校『流星スプーン』4/5回目 13:00～17:00
- 4日(木) ● 夏の劇場・りんかん学校『流星スプーン』5/5回目・発表会 13:00～17:00
- 5日(金) ● 演劇WSラボ【レクチャー】「「障害」に出会う～幻聴妄想から「障害」を考える」2/2回目(対象：一般) 18:30～21:00
- 5日(金) ● 小学生のためのえんげきWS(中学年Hコース) 10:30～12:30「ポンジーア ブラジル」(進行役：すずきこーた)
- 6日(土)
- 7日(日)
- 8日(月) ● 演劇WSラボ「おやこフシギ発見クラブ」⑤
- 11日(木) ● 演劇WSラボ「学校に行けない/行かない子ども達のための演劇WSクラブ」④
- 11日(木) ● 夏休み大学生インターン(レクチャー) 13:00～19:00 舞台芸術を取りまく仕事に関心のある学生を対象にした毎年恒例の夏のインターンシップ。レクチャーや実地体験を通して、舞台芸術、WS、劇場、地域について考える機会を提供した。
- 17日(水) ● 小学生のためのえんげきWS(中学年Iコース) 10:30～12:30「だれかがザムザだったなら～カワカ「変身」を考える～」(進行役：有吉直人)
- 18日(木)
- 19日(金) ● 高校生のための演劇WS 10:30～12:30「コトバの無いエンゲキ」(進行役：青山公美高)
- 18日(木) ● 演劇WSラボ「コーディネーションマインド・スキルをシェアするクラブ」④
- 18日(木) ● Technical Theatre Training Program「舞台技術講座46th」 舞台芸術に携わる次代の担い手を育成するため、1997年の開場から継続して実施してきた技術講座。第46回は、初心者を対象に目的別に3コース(音響、照明、安全)から選んで受講できる入門編を実施。4日間に亘りテキストに沿って講義と実技の両面から学んでもらい、次のステップへの足掛かりにしてもらえる内容となった。 13:00～18:00「舞台音響入門講座」(進行役：小笠原康雅) 13:00～18:00「舞台照明入門講座」(進行役：柘植幸久) 13:00～17:00「舞台技術安全講座」(進行役：熊谷明人) 21日(日) 10:00～17:00「舞台技術安全講座」(進行役：熊谷明人)
- 19日(金) ● 演劇WSラボ【レクチャー】「障害と舞台芸術～制度と広がり」1/2回 18:30～21:00(講師：田中真実) 厚生労働省が障害者芸術文化活動普及事業を展開し始め、障害当事者が芸術文化活動に参加することを支える仕組み作りが全国で推進されている。今回のレクチャーでは、神奈川県障害者芸術文化活動支援センターの運営に携わる田中真実さんをお招きし、障害者の芸術文化活動の制度のあり方、今後の展開について考えた。
- 21日(日) ● 「デイ・イン・ザ・シアター」1日限りの「演劇&劇場」体験WS① 10:30～12:30「めでたしめでたしのそのあと編(だれでもデイ)」(進行役：有吉直人) 15:00～17:00「めでたしめでたしのそのあと編(おとなデイ)」(進行役：有吉直人)
- 21日(日) ● 演劇WSラボ「感想クラブ」③
- 23日(火) ● 演劇WSラボ「グリーンフェイククラブ」③
- 23日(火) ● 小学生のためのえんげきWS(低学年Eコース) 10:30～12:30「誰かの話を聞いて劇を作る」(進行役：柏木陽)
- 24日(水)
- 25日(木) ● 中学生のための演劇WS(Bコース) 14:30～17:30「インソップ物語から演劇」(進行役：金谷奈緒)
- 25日(木) ● 下馬地区アートプロジェクト「だれでも写真クラブ・極楽」14:00～16:00「写真日記編」(進行役：金川晋吾)
- 26日(金) ● 演劇WSラボ「おやこフシギ発見」⑥
- 27日(土) ● 小学生のためのえんげきWS(高学年Kコース) 10:30～12:30「三茶の増上絵」(進行役：とみやまあゆみ)
- 28日(日)
- 29日(月)
- 27日(土) ● 世田谷パブリックシアター演劇部 中学生の部～区大会編～1,2/16回 13:30～17:00(進行役：大道朋奈)
- 28日(日)

学芸、制作、広報の各セクションから劇場運営について紹介しました。5時間に渡る長丁場でしたが、学生の皆さんからは多くの質問があり、終始熱心に参加されていました。



パブリックシアタースタッフによるレクチャーの様子

言葉を使わず、身体だけで演劇をつくることに挑戦。セリフがないことに戸惑いつつも、パントマイムやさまざまな表現方法を使って、最終日には、身体だけで映画のCMを披露しました。



最終日の発表風景。夏がテーマの映画チラシを身体で表現。



吊り角度について解説している様子 舞台技術安全講座

講師の田中さんが障害分野に携わるに至った経緯を聞きながら、障害のある人とアートの出会いの持つ可能性、意味について改めて考えさせられました。

「めでたしめでたし」で終わった昔話。登場人物たちは、そのあとどうなったんだろう? 1年後は? 10年後は? 100年後は? めでたしめでたしのそのあとを考えて演劇をつくりました!



魚になった湘島太郎を身体で表現している様子

インソップ物語を劇にしたり、自分達の日々の生活から見出した教訓からオリジナルの劇を作ったり、はたまた教訓からダンスを作ったりと、盛りだくさんを楽しみました。



自分の日常から得た教訓をダンスで表現



レポート



## せたがやこどもプロジェクト2022《ステージ編》 夏の劇場・りんかん学校『流星スプーン』



実施日：リハーサル7月26日(火)、28日(木)、8月1日(月)、舞台稽古8月3日(水)、発表会8月4日(木)

会場：世田谷パブリックシアター特設ステージ 上演台本・演出：白井晃

劇団・ドラマターグ：小宮山智津子 出演：公募で集まった子どもたち、中山祐一朗、古家優里、白井晃

この夏、白井晃芸術監督による新企画「りんかん学校」が開校しました。この企画は、林間学校で自然を感じるように、劇場でアーティストと共に作品を創造し、新たな世界に出会い心を動かす体験をしてほしいという白井晃芸術監督の願いから生まれました。

今回は、公募で集まった子どもたちがプロのアーティスト・スタッフらと共に、4日間のリハーサルを重ねて作品作りを体験、5日目にご家族を招いた発表会を行いました。毎回、みんなで体を動かしたり、大きな声を出すウォーミングアップをしてからリハーサルがスタート。子どもたちは主人公の姉(フィリー)弟(ファーガル)をシーンごとに交代で演じる以外に、大道具を動かしたり、ダンスをしたりと大忙しでした。最初は緊張気味の子も子どもたちもリハーサルが進むにつれ、「ここはこんなふうに動いたらどうかな?」と白井さんに提案したり、みんなで話し合いをしたりと、積極的にアイデアを出していました。

稽古はシーンごとに区切って行ったため、全体を通して行うのは発表会が初でした。台詞を覚えられないか直前まで不安がっていた子どもたちも、ちゃんと役を演じ、他の子の動きもお互いにフォローしながら、無事にカーテンコールを迎えることができました。

短い期間でしたが、みんなで一緒に作品をつくる楽しさを体験できた、子どもたちにとって忘れられない夏となりました。



不思議なおばあさんから流星スプーンをもらう主人公のフィリーとファーガル。後ろでは、子どもたちが体を使って流星が落ちるシーンを表現。



流星スプーンを使って南の島へ辿り着くと、そこには着いころのお父さんとお母さんが、



家に帰るため南の島を脱出するフィリーとファーガル。ビニールをみんなで動かして溶岩が流れるシーンを表現。

### 参加者の感想

- みじかいさかんだったけれど、みんなとやれてとても楽しかったです。これからもふたいにしたいです。
- 発表会がおわったあと、もう一回発表会をやりたいと思いました。とても楽しかったです。

レポート



## せたがやこどもプロジェクト2022《ワークショップ編》

日時：7月21日(木)～8月29日(月) 全14コース

場所：世田谷パブリックシアター稽古場

進行役：青山公美恵、有吉直人、大道朋奈、柏木陽、金谷奈緒、すずきこーた、田崎葵、高永圭一、とみやまあゆみ

劇場開館以来、夏休み期間中に子どもたちを対象とした演劇V/Sを実施しています。毎年たくさんのご応募をいただき、抽選となっている大人気企画です。今年度は連続3日間(1日2、3時間)を1コースとして、小学1・2年生(5コース)、小学3・4年生(4コース)、小学5・6年生(2コース)、中学生(2コース)、高校生(1コース)と学年でわけて全14コースを設定し、合計218人の子どもたちに会うことができました。

感染症流行前には1日5～7時間で行っていましたが、残念ながら今年度も短時間での実施を余儀なくされました。しかしながら、3日間にわたるV/Sは劇場でもそうある機会ではありません。このWSが、いつもはできないことにチャレンジできる場、夏休みという特別な時間の大切な経験として記憶に残る場となるよう、各コースの進行役はさまざまな想いや願いを込めてプランを考え、他スタッフとも話し合って練り上げていきました。

そうしてむかえたWS初日。緊張しているのは子どもたちばかりではありません。参加する一人ひとりにとってよい場所となるよう全力で挑む、その大事なスタートラインです。進行役もスタッフも、ドキドキしながら子どもたちを待っています。全コースあらかじめプランを立ててはいますが、それはあくまでも予定。最初にたてたプラン通りに最後まで進むことはほぼありません。どんなことが好きな子たちか、どんな話し方をし、人とどんなやりとりをするのか、私たちの提案をどう感じるのか。子どもたちの反応や雰囲気を見たり、やりたいことを聞いたりして、変更していきます。WSはそこに集まった人たちが作っていくもので、思いもよらない展開をみせることがほとんどです。各コースおばけや盆踊りといった夏らしいモチーフを使ったり、人の話をじっくり聞いて演劇をつくったり、衣装や小道具を作ったりとバラエティに富んだ内容となりました。しかし、そのこと以上に、WSではその時にその場でしか生まれないかけがえのないものを、子どもも私たち大人も体験しています。



小学生低学年Bコース「滑り道探検隊」



小学生中学年Gコース「2022年宇宙の旅」



小学生高学年Kコース「三茶の地上絵」



中学生Aコース「歌のある劇もダンスのある劇もつくる」

